

入賞者一覧

第一位・俳人協会千葉県支部長賞

口といふ命のかたち燕の子

猪瀬 達朗 (八点・特二)

第二位・若潮賞

卓袱台は母の文机小鳥来る

児島 千枝 (七点・特一)

第三位・菜の花賞

陽炎が持ち上げてゐる力石

大関 靖博 (七点)

優秀賞

しばらくは寝かせて置きぬ帰省の子

藤城 良子 (六点)

触手ゆれあうていそぎんちやく孤独

大野 崇文 (六点)

秀逸賞

昼寝子や鬼は絵本に戻りをり

深川 峰子 (六点)

蛸壺に鈴虫鳴かせ浦住ひ

大関 博美 (五点・特三)

この世の子あの世の子へと雛飾る

児島 千枝 (五点・特一)

佳作

しみ多き亡妻のレシピや大根炊く

浪岡 玄 (五点・特一)

まだ誰の息にもふれず露の臺

前川加代子 (五点)

雪解川見てをり絵具乾くまで

田辺ゆかり (四点・特二)

佳作

転舵してよりしろがねの春の水脈

宮城 新 (四点・特一)

シリウスはシリウスのまま兜太の忌

原 瞳子 (四点・特一)

花種を蒔くカナリアを葬りし地

山岸 明子 (四点・特一)

角巻や母と夜汽車を待ちしこと

辻 忠樹 (四点)

晩節はかくのごとくと冬木立

中島たけ子 (四点)

冬銀河今も褪せざる賢治の詩

酒本 旭夫 (四点)

野仏に異国のコインあたたかし

宮崎 陽子 (四点)

髪染めて卒寿の母の初写真

藤埜まさ志 (四点)

白鳥を見に行き鴨を見て帰る

渡辺美紀子 (四点)

千年の柱に凭れ冬あたたか

内海 良太 (四点)

行く春や埴輪の馬に大き鞍

齊藤久美子 (四点)

降りることもうなき高さ鶴帰る

山本ふぢな (四点)

寒卵のんで介護の仕事かな

関戸 信治 (三点・特一)

いにしへの地層が今に崖氷柱

土屋 明子 (三点・特一)

大皿に風花舞ひぬ陶器市

葛井早智子 (三点・特一)

散るほどに山茶花さざんくわらしくなる

柳 篤樹 (三点・特一)

万葉の妹のごとくに草を摘む

梅津 紀子 (三点・特一)

何事も無かつたやうに鳥帰る

福井 隆子 (三点)

福井 隆子 (三点)

福井 隆子 (三点)